

雲の上のまち



広報

ゆすはら

2025
(令和7年)
2月号
No.800

梶原町町制施行

広報 ゆすはら



町をあげての祝賀式（11月10日）
大人も子どもも梶原町の発展を願って



町章の決定



103号

昭和41年(1966年)
11月発行
「梶原町町制施行」

61号
昭和38年(1963年)
2月発行
「未曾有の豪雪」

伝え繋いで創刊800号

ゆすはら
広報



御神幸

町内の季節行事を追って

御神幸（おみゆき）

第一度の大祭に、ご神体が移りこみし。美しに装束を付けて、お祭り「おたぎし」まで行くことをいいます。明治時代から始められたといわれ、東区、南区、越前町の各三嶋神社で行われています。行方は、昔殿様が三嶋交代の時のように、牛馬を先頭に馬を中に前後を警備するようになり、み鼓、長柄杓、毛氈、竹おけ、などとなり、騎馬武者などが続きます。（11月8日：三嶋五社神社）

318号

昭和59年(1984年)
11月発行
「御神幸（おみゆき）」

国道一九七号線高研地区開通

南予がぐつと近くに



280号

昭和56年(1981年)
9月発行
「国道197号線高研地区開通」

令和7年二十歳を祝う集い

1月3日、ゆすはら・夢・未来館で二十歳を祝う集いを行いました。平成16年4月2日から平成17年4月1日に生まれた31名が二十歳を迎え、うち20名が出席しました。矢野教育長より二十歳を迎えられた出席者の一人ひとりの名前が読み上げられた後、吉田町長の式辞、来賓を代表して土釜議会議長から祝辞が贈られました。その後、



講演会の様子

吉田町長から出席者代表の藤井奏汰さんに、記念品が手渡されました。次に、出席者を代表して川田慎之助さんが、「今日までの20年間、私たちはたくさんの方に支えられながら、ここまで成長することができました。誰よりも深い愛情を注いでくれた家族、我が子のようにご指導くださった先生方、いつもあたたかく見守ってくくださった地域の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。晴れて大人の仲間入りをした私たちですが、まだまだ未熟で至らない点も多くありますので、どうか今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます」と謝辞を述べました。

第2部では、株式会社ポテンティアスクール・ファイナンシャルプランナー松田充博さんより、「社会人として知っておきたいお金の話」と題し講演いただきました。

二十歳を迎えられた皆さんへお金の大切さや社会人としての責任を意識してもらえたと思います。

また、小学校から高校時代の恩師の方々よりお手紙をいただきました。その後、出席者から二十歳を迎えての思いやふるさと梶原への思い、将来の夢などを「二十歳のメッセージ」としてお話しいただきました。



謝辞を述べる 川田 慎之助さん

その一部を抜粋したものを紹介します。

● 川田 慎之助

ここまで育ててくれた両親に感謝したい。梶原を出て、大学に通っている中で、一番、友達の大切さに気付けたと思います。これから皆さんよろしくお願いします。

● 下元 祥平

現在は、高知の大学で勉強しており、高知市で生活している。今こうして私がここにいられるのも家族をはじめとした皆さんのおかげです。これからも応援をよろしくお願いします。

● 勝賀野 歩夢

現在は東京に住んでいる。不安なこともあり慣れない環境ではあるが、気持ちを大事にして、しっかりと1人で乗り越えてきた。親元を離れているが、しっかりと親孝行ができるように頑張っていきたい。

● 高橋 梓

現在は、大阪市内でジュエリーの専門学校に通っている。将来は、独立しジュエリーブランドを立ち上げることが夢なので、親孝行ができるように頑張りたい。

● 谷田 翔太

現在は、高知県警に就職している。一人前の警察官になって皆さんに恩返しできるように頑張るの、これからも応援よろしく願います。

● 谷田 陽太

現在は、父の仕事を手伝っている。これから自分のやりたいことを見つけて自分なりに頑張っていきたい。

● 中越 天翔

現在は徳島の大学に通っている。まだ将来のことが決まっていなくて不安ですが、後2年、大学で単位を落とさないように頑張りたい。

● 中越 大夢

現在は徳島の大学に通っている。20歳を迎えるにあたって、自分を育ててくれた両親やお世話になった方々へ恩返ししていきたい。

● 中越 悠斗

現在は、高知市内の専門学校に通っている。自分がしたかった夢に向かって頑張っていきたい。また今まで関わってくださった方々に恩返しをしていきたい。

● 中越 輝

現在は、高知の専門学校に通っている。3月には専門学校を卒業して、4月から働くので、自分らしさを忘れず働いていきたい。

● 西村 友斗

現在は、神戸の理美容学校に通っている。2月と3月に国家試験があるの、それに向けて頑張っている。4月からは就職するので、一人前の美容師になれるように頑張りたい。

● 西森 妃咲

2月と3月に国家試験があるので、それに向けて頑張りたい。4月から高知市内のサロンに就職するので、よかったら皆さん来てください。

● 橋本 乃ノ香

現在は、愛媛県の大学に通って

いる。20歳を迎え、この年まで私を育ててくれた両親へ感謝をし、立派な大人に近づけるよう日々精進していきたい。

● 藤井 奏汰

4月から美容師になる予定なので、支えてくれた周りの人たちに恩返ししていきたいように頑張りたい。

● 松村 圭馬

現在は、梶原で土木の仕事をしている。自然と触れ合いながら働



二十歳のメッセージの様子

けるいい仕事だと思っています。しばらくは梶原で働くのでよろしくお願いします。

● 溝添 悠真

現在は、保育関係の専門学校に通っている。4月から就職も決まっているので、20年間お世話になってきた両親や関わってきてくれた人に恩返しができるように頑張っていきたい。

● 森田 桜

現在は、岡山県の大学に通っており、自分の将来の夢に向かって勉強をしている。将来の夢に少しでも近づけるようにこれからも頑張っていきたい。

● 矢野 ひかる

現在は、京都の大学で歴史を勉強している。将来の夢はまだ何も決まっていないが、3回生になると本格的な研究が始まるので、自分の将来の夢や目標を見つけていきたい。

● 山本 みな子

現在は、高知の大学で、色々なことを勉強している。まだ、将来については決まっていないが、どんな選択をしても、自分がした選択には責任を持って、自分の道を見つけていきたいと思っています。



二十歳のメッセージの様子

二十歳を迎えられたみなさん、おめでとうございました。責任と自覚をもち、自分の夢に向かって焦らずに一步一步、進んでいくってください。

生涯学習課

米で梶原高校を応援



県内外から梶原高校に入学し、親元を離れ「梶原町生涯学習交流センター（ゆすゆす）」で生活する68人の生徒に、丹精込めて育てたおいしいお米を届け、未来を担う高校生を応援しようと、昨年11月に町内の有志による「一俵入魂の会」の皆様が町民に呼びかけ約1トンの米が集まりました。

12月23日に発起人の方々がゆすゆすを訪問し、贈呈して下さいました。この会の発起人で同窓会副会長の西村信明さんと川上政志さんより応援の言葉と共に、代表の生徒に梶原で栽培された米の入った大きな袋が手渡されました。受け取った生徒からは「部活で体力も使い、毎日ご飯をたくさん食べるので嬉しい。夏の大会に向けて励みます」と部活動への心意気を感ずる言葉が聞かれました。

足達校長から「米や他の食品の価格上昇が激しい昨今、こんなに沢山の米を寄付していただき、大変助かります」と感謝の言葉をお伝えしました。



今回町民の皆様から寄付いただいた米で、約3か月分が賄えます。ご寄付いただきました町民の皆様、そして呼びかけから米の受け取りまでご尽力くださった「一俵入魂の会」の皆様、地元梶原高校の応援ありがとうございます。

梶原高等学校
生涯学習課

氏原哲哉氏 高知県スポーツ推進委員功労者表彰受賞

梶原町スポーツ推進委員副委員長の氏原哲哉氏が、高知県スポーツ推進委員功労者表彰を受賞されました。

この表彰は、スポーツ推進委員として8年以上において、体育・スポーツの振興に顕著な功績がある方が受賞されます。

氏原氏は、平成28年度より梶原町スポーツ推進委員を務められ現在に至っています。令和元年からは、副委員長として梶原町のスポーツ推進に寄与いただいています。

また、梶原町の総合型地域スポーツクラブの運営委員として中心的な役割を担っているほか、龍馬脱藩マラソン大会では実行委員として運営に携わり、現場でも率先して活動されています。更に、令和6年1月からは、梶原町体育会長に就任され、梶原町の社会体育振興において必要不可欠な人材となつていきます。

12月22日に高知市で表彰式が執り行われ、過日、町長室において吉田町長より表彰状の伝達が行わ

れました。

氏原様、誠におめでとうございました。

今後も、梶原町の生涯スポーツの推進にお力を貸していただきたいと思います。

生涯学習課



第44回在阪栲原ふる里会総会開催



1月26日、第44回在阪栲原ふる里会総会が大阪市の此花会館梅香殿で開催されました。

全国的にインフルエンザが猛威を振るっていましたが、年末をピークに減少し、お天気も味方して、予想以上の出席で定刻通り開始しました。

栲原町から吉田尚人町長、土釜清議長、長山和幸商工会長、森山真二森林組合長、他職員の方々と高知県大阪事務所の辻和生所長をお迎えして全員で44名になりました。

司会の玉川副会長の開会宣言があり、続いて、昨年12月にご逝去された越知面出身の安井喜美子さんに黙祷を捧げました。

隅田会長は、「地球温暖化現象で世界各地で自然災害が発生している。そんな中で、栲原町は脱炭素社会の先進地として様々な施策に取り組んでいることを伺い、私たちは栲原人であることを誇りに思っている。また、今年は4月に大阪関西万博が開幕する。皆さんも近未来を想像し体験しましょう」と呼びかけました。

吉田町長は、「栲原町が25年にわたり取組んでいる事業の中で、脱炭素先行地域事業を開始しました。森林資源を活用したバイオマス発電所を作り、町民の電気代を少しでも安くなるよう繋げてゆく。この小さな取組が世界に広がればよい」とあいさつ。

また、産業の面では、津野山畜産公社の和牛が、県の品評会で最高の評価を受けたこと、教育の面では、小中高の一貫教育に取り組

んでおり、高校の入学者が50名（町内17名、町外33名）になり、寮の増築を行っていることを紹介しました。

さらに、雲の上の図書館の昨年来館者が13万人あり、台湾からは隈研吾氏の建造物の見学にも来ていることなど、環境の町、エネルギーの町、観光の町を目指し事業展開をしてゆくと、意気込みをお話いただきました。

その後、西宮市から市長石井様、議長八木様、教育長藤岡様からのお祝いのメッセージが披露されました。

第2部懇親会は、土釜議長のご発声で始まりました。一息ついたところで来賓紹介がありました。カラオケの合間にじゃんけんゲームがあり、和やかな雰囲気の中、飛び入りの珍客もあり会場が盛り上がりしました。



定刻になり長山商工会長の一本締めで中締めとし、最後に童謡「ふるさと」を合唱し来年の再会を約束し閉会しました。

会員の高齢化が進んでいる中、出席者は決して多いとは言えませんが、この総会が栲原町と関西をつなぐ交流の場になれば意義は大きく、今後も続けてゆきたいと思っています。

在阪栲原ふる里会総会
副会長 玉川 正明

梶原町上下水道料金改定検討委員会(第3回) 上下水道料金改定(見直し)の検討結果を報告



1月21日、令和6年度梶原町上下水道料金改定検討委員会(第3回)を開催しました。検討委員会では、令和5年度から上下水道料金について協議・検討を行っており、その方向性について、昨年11月から12月にかけて各区での説明会や資料の配布などを行い、現在の簡易水道事業の経営状況や水道料金の引き上げについてご理解とご協力を求めたところとです。

第3回の委員会では各区の説明会や各簡易水道組合等から出された意見等を踏まえ、検討委員会としての検討結果を取りまとめ、吉田町長へ報告を行いました。主な報告内容については以下のとおりです。

【水道料金】

昨今の物価上昇などが住民生活に影響を及ぼしており、家計への負担を考慮して、今回の改定では600円を800円とし、段階的に引き上げるのが望ましい。水道事業の運営は独立採算が原則であり、必要経費は水道料金で賄うものとされているが、その場合、現在の水道料金の10倍程度、引き上げる

必要があるとの試算であるが、経済的負担が大きくなることから、今後も引き続き町からの支援・補助をお願いする。

【料金減免制度】

水道料金の減免制度は平成21年度から継続されてきたが、当時と比べ、生活支援などの福祉事業は充実している。近年、個人情報保護法など、新たな法の制度により、個人情報

情報の取り扱いが厳しくなっており、水道組合として対象者の把握が困難となっている。以上のことから、減免の制度については見直しをお願いする。

【下水道料金】

下水道料金は県内の平均値で推移していることから、据え置きが望ましい。

【その他】

毎年の決算状況により計画的に料金の検討を行い、3年から5年ごとに見直しを行う必要がある。上下水道事業は簡易水道組合をはじめとする住民の協力があつて成り立っていることから、十分に協議し理解を求めながら事業を進めていきたい。



会長から町長へ検討結果報告

以上の検討報告を踏まえ、3月議会で水道料金の改定について、議案提出を行うこととしています。「蛇口からキレイな水が出る」当たり前を守るため、事業の効率化・経費削減に努めてまいりますので、引き続きご協力をお願いします。

梶原町上下水道料金改定検討委員会
環境整備課
各簡易水道組合長
簡易水道区域区長
越知面地区農業集落排水組合長

ごみ処理・し尿処理等の 協力に関する協定について



南海トラフ地震によるごみ処理施設等の故障や緊急停止、また、温暖化の影響により頻発する風水害などの自然災害による施設への進入路の通行止めなどの不測の事態に備え、ごみ処理及びし尿、浄化槽汚泥処理の協力に関する協定について、四万十町と高幡東部清掃組合及び組合構成市町の4市町で昨年12月24日に協定の締結を行いました。

活に支障が出ないよう体制を整えるとともに、災害時の不安解消や公衆衛生の確保を図るものです。協定によるごみ等の受け入れについて、四万十町及び施設周辺自治会のご理解・ご協力に厚くお礼申し上げます。

環境整備課生活環境係



関係5市町による調印式

和6年11月の、高知中央西部焼却組合、仁淀川下流衛生事務組合との協定に続き、四万十町が管理運営するごみ処理施設及びし尿処理施設でも、災害等の非常時にはごみ等の処理について協力をいただくもので、住民生

災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定について

高幡圏域内で大規模な災害が発生した場合に、応急仮設住宅の建設による被災者の安全安心な生活を確保することを目的に、高幡圏域の5市町（須崎市、中土佐町、津野町、梶原町、四万十町）と一般社団法人日本ムービングハウス協会（北海道札幌市）が、1月15日に協定の締結を行いました。

高幡圏域の5市町は平成27年4月に「高幡圏域における広域避難に関する協定」を締結し、域内で地震等の大規模な災害が発生した場合に市町を超えて避難者の受け入れに関して協力することとなっており、さらに平成30年6月には「高幡広域危機管理検討会」を設置し、防災・減災活動の情報共有や協議を行うなど日頃から連携を図っています。

こうした取組の中、南海トラフ巨大地震が発生した場合に沿岸地域では仮設住宅の設置場所の確保に課題を抱えており、災害発生時において市町の枠組みを超えた協力を実現させることができるよう、今回の協定締結に至りました。日本ムービングハウス協会は、

被災地に移動式の応急仮設住宅（木造住宅ユニット）を普及させる活動を行い、国内17箇所に生産拠点をもち、平成30年の西日本豪雨以降、全国各地の被災地で応急仮設住宅の設置にあたっています。ユニットは長さ12メートル、幅2・4メートルのコンテナ型となっておりトレーラーで運ぶことができ、建設型の仮設住宅と比較して早期に運用が可能であり、令和6年能登半島地震においても、これまでの災害で使用したものを再活用するなど511世帯に利用されています。



移動式の応急仮設住宅（ムービングハウス）



総務課危機管理係

【税務署から確定申告会場についてのお知らせ】

【開設期間】

- 令和7年2月17日(月)から3月17日(月)まで(土・日・祝日を除く。)

※上記の期間より前は、確定申告会場を設置しておりませんのでご注意ください。

ただし、作成済みの申告書等の提出は受け付けております。

なお、贈与税や土地などの譲渡所得について申告相談を希望される方は、担当職員が従事している、**3月3日(月)以降**にお越しください。

【受付時間等】

- 午前8時30分から午後4時まで（相談開始は午前9時から）

混雑緩和のため、会場への入場には、入場できる時間枠が指定された「入場整理券」が必要です(作成済申告書の提出のみであれば不要です。)。入場整理券は当日配付しますが、LINEを通じたオンライン事前発行も可能です。ただし、入場整理券の配付状況に応じて、午後4時前であっても受付を終了する場合があります。



国税庁 LINE 公式
アカウントはこちら



パスワードの初期化に
ついてはこちら！

- 確定申告会場では、原則、ご自身のスマホを操作し、申告書を作成していただきます。

確定申告会場に来場される場合は、確定申告書の作成に必要な書類のほか、スマホ、マイナンバーカード、マイナンバーカードのパスワード2種（①利用者証明用電子証明書（数字4桁）、②署名用電子証明書（英数字6～16文字））を持参してください。

令和6年度「税に関する作品」入賞作品紹介

毎年、須崎税務署管内租税教育推進協議会、須崎税務署では将来を担う児童・生徒の皆さんに税金への関心及び理解を深めていただくために、租税教育の一環として、税に関することをテーマとした作品を募集しています。

募集のあった作品の中から、厳正な審査の結果、梶原高校の生徒の作品が入賞となりましたので、紹介いたします。

税に関する高校生の作文部門

『須崎税務署管内租税教室 推進協議会会長賞』

梶原高等学校1年

安井 星愛さん

『見る角度をかける』

戦後、一九四六年に日本国憲法が制定され国民の三大義務の一つとして納税が定められた。でもなぜ憲法で決められているとはいえ税金を納めなければいけないのか。そこには日本社会において、より良い社会を作っていくためには欠かせない資源であり、身

近で、自分が生まれてから死ぬまでに必然的に関わるものだからです。ですが、未だ私には税金の良さが理解できず、損をしている気分です。

しかし、年の離れた妹弟ができ、二人共身体が弱いため、よく病院にお世話になっているのですが、弟にはアトピーもあり、よく皮膚科を受診しては沢山の塗り薬と飲み薬を処方されています。一度一緒に薬局でも支払いをせずに出て行く母を見て気になり問うたことがあります。母は、

「有難いよね。こんなに月に何回も受診したり、沢山薬を出してもらえる。子供が三人なら三人分かかるものが、十八歳までは控除されて助けてる。」

と言っていました。こんな所に税金が使われているんだと、その時思った事でした。

その反面、父が吸うタバコに関していつも母は怒っていました。タバコ一箱五八〇円でみると、その税は三五七・

六円となり、定価の約六十一・七パーセントを占めています。値段の半分以上が税金なのです。毎年一兆円を超えている貴重な税の資源なのです。でも家計を圧迫しているのは誰で、タバコをやめる気配のない父を見て、いつも母は、

「もっとタバコ税が上がればいいのに。」

と言っていました。上がると大変じゃないのかと思いましたが、上がればそれはそれで青少年や低所得者の消費が減少するメリットもあるんだなと感じました。喫煙傾向の世の中であるので、上がるべきところの税が上がるのは良いのではないかと思います。

増税と聞くと良い感じではありませんが、いろんな角度から見れば良い点もあり、子供医療費助成制度や後期高齢化社会の日本をこの先、私自身も税金で支えていく一人として、税金の使用目的をしつかり見守りたいと思いました。



ふるさと納税の寄附について

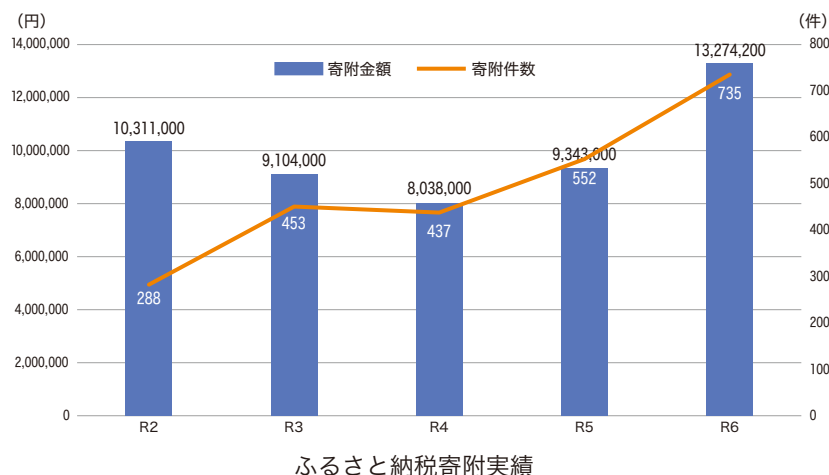
梶原町における今年度のふるさと納税の寄附額は、町外の多くの方々にご支援をいただき、令和7年1月末時点で過去最高となる約1,327万円となっております。

ますので、ご理解・ご協力のおかげで、ありがとうございます。

まちづくり産業推進課

地域振興係

まちづくり産業推進課では、町内の事業者の皆さまを対象に、特産品の開発や商品の魅力向上などを支援するとともに、ふるさと納税の返礼品についても興味・関心を寄せていただけるような情報発信に努めてまいりました。



令和6年度住民税非課税世帯給付金 (3万円／1世帯)のご案内

物価高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯への支援として、

1世帯当たり3万円を給付します。

※世帯によって、手続き、支給時期が異なります。

①給付額

1世帯当たり3万円

※世帯に18歳以下の子ども(平成18年(2006年)4月2日以降に生まれた子ども)1人あたり2万円を加算します。

②支給対象世帯

令和6年12月13日時点において梶原町に住民登録があり、世帯全員が令和6年度個人住民税均等割が非課税の世帯。

※世帯全員が住民税均等割課税者から扶養されている世帯を除きます。

③支給時期

令和7年2月下旬より順次支給予定です。

④手続き方法

■梶原町に世帯主の口座登録がある世帯(給付金〈令和5年度(7万円)、令和6年度(10万円)など〉を口座振り込みで受給した世帯など)

対象世帯には、梶原町からお知らせ文書を送付します。

お知らせ文書が届いた世帯は、給付金を受け取るための**手続きは不要です**。(口座振り込みにて給付します。)

※前回の給付時点と世帯構成が変更になった場合等は、別途手続きが必要です。

詳細は梶原町役場総務課税務係までお問い合わせください。

■上記以外の世帯

●給付金を受け取るには、一部申請が必要な場合があります。

●詳細は梶原町役場総務課税務係までお問い合わせください。

お問い合わせ

梶原町役場総務課 ☎65-1111 受付時間 平日 8:30～17:15



桤高だより

農業コース実習



根と白菜の販売実習を行いました。たくさんの方にご購入いただき、ありがとうございます。

この販売実習は毎年人気があり、品切れで購入できなかった方にお詫び申し上げます。

秋から冬にかけて、農業コースの生徒は冬野菜の栽培を中心に実習を重ねてきました。

今年度は12月の中旬に、収穫した大

全国伝統文化フェスティバル

12月15日、京都コンサートホールにおいて、全国高校生伝統文化フェスティバルが開催されました。

このフェスティバルは、文化庁、京都府、京都府高文連が主催し、全国から選抜された5校が、継承する地域の伝統文化を披露する催しです。今回、桤原高校ディスカバークラブは出演する機会に恵まれ、演目「鬼神退治」を堂々と演じました。

前日にはリハーサルや全体交流会が、当日には、全国から集まった茶道部員によるお茶のもてなしなどがあり、全国の高校生との交流も経験できました。

球技大会

12月17日、校内球技大会が開かれました。

生徒会が企画・準備を担当し、



総探報告会

卓球、バドミントン、バレーボールの3種目にわたって、生徒たちが楽しめるよう工夫を凝らしていました。

3年生にとっては、高校最後の球技大会です。良い思い出になれば幸いです。

4月から、各学年各グループに分



かれ、それぞれのテーマに沿って取り組んできた「総合的な探究の時間」その探究活動の集約として、総探報告会を12月18日に行い

大学入学共通テスト

1月18日と19日の両日、大学入学共通テストが実施され、全国で50万人近い受験生が受験しました。

桤高からは、当日の体調不良者を除き、22名が高知大学朝倉キャンパスで受験しました。

一般入試に挑む受験生の健闘を祈ります。

ました。

午前中のリハーサルでは発表方法や発表時間等について調整を行い、より良いプレゼンテーションに向けて修正して本番につなげていました。

報告のあと、質疑応答が活発に行われ、生徒の主体性と興味関心に結びついた報告会となりました。



栲原こども園だより



雪遊び



1月には雪が降って大喜びの子ども達。窓の外の雪をじっと見たり、「ゆき」と嬉しそうに伝えたりする姿がありました。

乳児組はタライに雪を入れて部屋の中で雪に触れて遊びました。「つめたい」と言いながら触ったり、雪玉を作ったり、友達に雪をつけてみたりしていました。



つめたーい!



ぎゅっぎゅ



幼児組は庭に出て雪遊びをしました。雪の上を歩いて足が埋めれると驚きの声を上げたり、自分の歩いた後の足形をじっくり見たりしながら、冬の栲原ならではの雪遊びです。



子ども達は栲原の自然に触れ、四季を感じながら育っています。

こま遊び



各クラスでこま遊びを楽しんでいます。紐を巻いて回すこま、指先や手を使って回すこまなど、それぞれのクラスの発達に合ったこまで遊んでいます。回ったこまをじっと見たり、回ったことが嬉しかったりして、できるまで何度も挑戦しています。

それっ!



まわった
まわった



もぐもぐ教室



保健福祉課管理栄養士の方から幼児組に向けて『もぐもぐ教室』がありました。「風邪をひくと体の中にバイキン(ウイルス)が入ってきてうんちがやわらかくなったりベチャベチャしたりする。栄養バランスの良いご飯を食べると元気が出て、バナナうんちになるよ。みんなもお家の人の作ってくれたご飯をよく噛んで食べて、冬だけどお茶やお水もごくごく飲んでね」と分かりやすくお話をしてもらいました。



こども園ホームページ



雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900

図書館の魅力をもっと発信！

公式Instagramを開設しました



どこにいても好きな事柄のニュースを手に入れることができるInstagram。この度図書館では、公式アカウントを開設しました！図書館の日常やイベント情報、特集棚のご紹介に加え、梶原町の魅力をお届けします。また、最新の休館日や冬季の道路情報など、便利なお知らせも随時発信中です。ぜひフォローして、雲の上の図書館の新しい魅力を発見してください。皆さまの「いいね！」もお待ちしております。

音楽で紡ぐ未来への想い

ピアノコンサートを開催しました



ピアノ演奏を通して被災地支援の輪を広げる西宮市職員でピアニストの谷口博章さんをお招きし、貴重なお話と共に素晴らしいピアノ演奏をご披露いただきました。モーツァルト、ショパン、ドビュッシーなどの有名なクラシック作品をはじめ、日本の童謡を盛り込んだ現代の楽曲や、台湾では誰もが歌える人気曲など、バラエティに富んだ選曲で会場は温かい拍手に包まれました。音楽で人と人が繋がる素晴らしさを実感するひとときでした。

大好きなこと、語り尽くそう

『みたてのくみたて 見るだけでひらめくアイデアの本』

著：田中達也

インターネット上で毎日欠かさずことなく作品を発表し続けているミニチュア写真家・見立て作家の田中達也が、自ら用いている論理的にアイデアを生み出す法則を、作品写真やイラストとともに解説する。



時代に想いを馳せる

『大正時代の身の上相談』

編：カタログハウス

他人の悩みはいつの世も蜜の味。大正時代の新聞紙上で129人が相談した、あきれた悩み、深刻な悩みが時代の空気を鮮明に映し出す。ふとかえりみて、現代に生きる自分の悩み事を見つめ直す機会にも。



ご紹介した作品が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

3月の休館日

4日、11日、18日、25日、28日

季節の短歌

好きなチョコ 自分で買って 食べてゐる

それでいいのだ 聖なる二月 / 初音(しよおん)

観光協会だより

ぶどうジュース新発売！

皆さまに嬉しいお知らせです。観光協会から新商品のぶどうジュースが登場しました。

このジュースは、地域おこし協力隊の赤尾さんが育てた町産のブドウを使用。町の澄んだ空気と豊かな自然が育んだ、100%純粋なブドウの味をお楽しみいただけます。果実本来の甘さと、濃厚な味わいをそのまま閉じ込めた贅沢な一品。添加物を一切使用していません。ため、小さなお子様まで安心して飲みいただけます。特製ぶどうジュースを、ぜひお楽しみください。

【販売情報】

● 720ml 1,600円
● 200ml 470円



商品に関する詳細やご購入については、観光協会までお気軽にお問合せください。

11月の利用者数	
人数 / 組数	
ガイドツアー	840人 / 45組
宿泊者数	1,210人 (前年比105%)
12月の利用者数	
人数 / 組数	
ガイドツアー	225人 / 10組
宿泊者数	739人 (前年比89%)

ゆすはら雲の上観光協会

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。

紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【ふるさとづくり寄付金】

鈴木 徹様 (神奈川県)
二瓶 章様 (埼玉県)
煎江 樹梨様 (京都府)
粕谷 亮太郎様 (埼玉県)
齋坂 雄一様 (高知県)
仁尾 豊様 (秋田県)
前田 祐二様 (東京都)
九石 太樹様 (東京都)
山岸 麻紀様 (東京都)
森 茂樹様 (大阪府)
和田 智様 (愛知県)
戸田 典尚様 (神奈川県)
中井 義紀様 (奈良県)
五十嵐 正樹様 (大阪府)
岡田 淳様 (千葉県)
小山 陸様 (埼玉県)

【その他のご寄付】

宮松 智様 (東京都)
高橋 章子様 (京都府)
田中 佑宇人様 (神奈川県)
熊谷 朱江子様 (福岡県)
山崎 徹様 (北海道)
岡村 祐人様 (高知県)
甲斐 真里子様 (北海道)
渡邊 彩子様 (東京都)
磨見 美智様 (大阪府)
井野口 達也様 (東京都)
天野 直樹様 (神奈川県)
笹岡 麻衣様 (大阪府)
西谷 修一様 (東京都)
和田 理香様 (大阪府)
加藤 秀一様 (東京都)

他匿名希望の方 453名

福田 京様 (兵庫県)
浜口 静子様 (大阪府)
五十嵐 良子様 (大阪府)
(広報ゆすはらへ)

3月の行事予定

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1日(土) アメゴ解禁
春の火災予防運動(7日まで)
梶原高校卒業証書授与式・同窓会入会式 | 18日(火) 行政相談(9:00~12:00) |
| 8日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デー | 20日(木) 梶原町交通安全の日 |
| 12日(水) 梶原学園9年生卒業証書授与式 | 21日(金) 梶原学園6年生卒業証書授与式 |
| 14日(金) 所得申告受付終了 | 24日(月) 梶原こども園卒園式
梶原学園終了式 |
| | 27日(木) 梶原高校合格者登校日 |

※行事予定は変更となる可能性があります、ご了承ください。

3月の保健福祉課行事予定

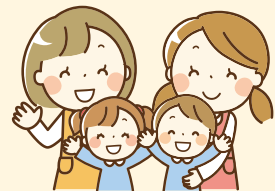
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 3日(月) げらげら家族会 | 13日(木) 四万川宅老所 |
| 4日(火) 小児検診 | 越知面デイサービス友の会 |
| 5日(水) 松原サテライトデイサービス | 14日(金) 東区いきいきふれあい広場 |
| 6日(木) 四万川宅老所 | 西区いきいきふれあい広場(広野) |
| 7日(金) 初瀬いきいきふれあい広場 | 18日(火) 献血 |
| 12日(水) あゆみの会、健康を守る会 | 20日(木) 東区宅老所 |
| | 21日(金) 四万川いきいきふれあい広場 |

毎週月曜日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時～
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。
(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日)…… 10日(月)、11日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター ☎65-1170までお願いします。



※行事予定は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

● おくやみ

住 所	死亡者名	年齢	死亡年月日
大蔵谷	中越 武誌	92	令和6年11月26日
島 中	吉村 錦子	87	令和6年12月6日
井 高	中越 兼美	76	令和6年12月13日
太郎川	西森千代子	101	令和6年12月27日
上本村	竹倉 健一	71	令和7年1月19日
島 中	久岡 泰助	72	令和7年1月25日
六 丁	村田 弘榮	93	令和7年1月28日

● おめでた

住 所	出生者氏名	出生年月日	保 護 者
田野々	しもむら さほ 下村 彩穂	令和6年12月2日	下村 智也
東 町	くにもと はれ 國元 晴令	令和6年12月27日	國元 憲法
太郎川	てらもと あおい 寺元 碧彩	令和7年1月21日	寺元 洋介

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

文芸

柚子の木俳句会

杉山の雪は海軍流の礼

西村由利子

綱取りが懸かる初場所鳴るセツタ

中平 忠雄

ひいといを降る雪積む雪見て終う

渡辺 瑞枝

山の端はレース快晴の早春

吉田 敬子

冬の日やすつくと立ちし鶴の顔

中越 昌一

ムササビやトントントンの午後十時

広瀬 卓雄

「ひいといを降る雪積む雪見て終う」

今年の四万川は、50センチほどの積雪がありました。昔は、外で作業ができない日は、縄作りや粉ひきなどを土間でしていました。

今は差し迫っての作業はなく、道の雪除けをしつつ、降る雪・積もる雪を見て、雪の日の静寂を觀賞するのです。

杉の子俳句会

テレビにも鍋にも飽きてはや三日

下元 廣幸

震災のあの日の朝の忘れず

西村 蓉子

初踊りそろりと老いを伴のうて

内野 純子

冬木の芽風の揺らぎに伸ぶ二ミリ

久岡 智子

深々とただ津々と雪化粧

影浦 鉄心

蔓延のインフルエンザ過疎の村

明神伊佐子

大寒や白寿となりし母の指

川田 早苗

肩の荷をおろし新年迎えけり

氏原 陽子

梅ふふむ特急列車の自由席

掛橋 初子

昼食のカレーの匂い雪だるま

西村 幸枝

去年今年スマホデビューを諦める

大崎みなと

「初踊りそろりと老いを伴のうて」

楽しい初踊りです。そろりそろりと忍び寄る老いも明るく受け止めて、今日も楽しく踊ります。笑って踊って眠ります。このように、俳句とはどんな状況でもふわっと詠むことが出来ます。

梶原町のいろいろなサイトをご紹介します

ゆすはら散歩

奥四万十時間
Instagram



ゆすはら
キャンプ場
Instagram



ゆすはら
雲の上観光協会
Instagram



四国カルスト広域
連携推進協議会
Instagram



ライダーズイン
雲の上
Instagram



梶原町公式ホームページ
<http://town.yusuhara.kochi.jp/>



わが町の人びとの動き

世帯数 1,686 (1月末) / 1,689 (12月末)

人口 3,079 (1月末) / 3,084 (12月末)

出生	死亡	転入等	転出等
2	4	3	6

「広報ゆすはら」の表紙写真を募集しています。

応募方法等の詳細は役場総務課(☎65-1111)までお問合せください。

広報

けすば

広報

けすば



5月1日の開院をまつ橋原病院（1・5面に関連記事）



'95
5
443号

平成7年(1995年)
5月発行
「橋原病院開院」



交流の拠点「太郎川公園」
（手前 雲の上の温泉 中段 雲の上のレストラン・ホテル
上段 森林生態学習館・きつつき学習館）

「道の駅」でもある太郎川公園は、自然や歴史を活かした交流の拠点施設として、森林生態学習館・きつつき学習館・レストラン・ホテル・温泉などを、地域で「水」をふんだんに使い整備しています。

'97
4
466号

平成9年(1997年)
4月発行
「太郎川公園」

発行所・高知県高岡郡橋原町役場(西089-65-1111) 発行兼編集・橋原町広報委員会 印刷所・中島忠雄印刷

発行所・高知県高岡郡橋原町役場(西089-65-1111) 発行兼編集・橋原町広報委員会 印刷所・中島忠雄印刷

広報委員のつぶやき 拡大版

橋原町広報は、今号で800号を迎えました。単純計算でも67年を迎えています。

自治体広報紙が持つ役割とは何でしょう？ 今流行りのAーの一つ、Geminiiに聞いてみました。挙げられたのはこの4つ。

- ・住民への情報提供
- ・住民との双方向コミュニケーション
- ・地域への愛着の醸成
- ・透明性の確保

Geminiiが挙げなかったもう一つの役割があります。それは、未来に向けての記録であるということです。

未来の町職員か、それとも研究者か、はたまた地球人の社会を研究する宇宙人かは分かりませんが、誰かがこの紙面を読み、分析し、かつての橋原町に思いを馳せてくれる可能性があるので。

その思いも込めて、今回の表紙は広報の縮刷版を使ってみました。

かつて広報を担当していた町職員OB、Sさんにもお話を聞きました。

まだ写真がフィルムだった頃の表紙を作る大変さ、道路がまだ不便だった頃の取材の苦労。通常業務と並行してのハードワークながら、やりがいを感じたこと。発行すれば町民からすぐに反応がある緊張感。その頃の記事には、熱が感じられます。

翻って現在、毎月出てくる原稿に広報委員の皆さんと目を通します。固有名詞を入れ替えただけの残念な記事、主語と述語が整わない記事のため息をつくことも。

現在では情報を得る手段は、紙媒体やラジオ・テレビはとくに古いものとなり、手元にあるスマホを通じたSNS経由に大きく移行しています。書く側も、読む側も、自分の住んでいる町に、興味を持っていない若い世代が増えてきているのかもしれない。

それでも、町役場のインターンシップに参加してくれた中学生Mさんは「毎月広報を読んでいます！」と喜んでくれました。彼女は今後、どこで暮らしても、地元の広報をきちんと読むでしょう。そして自分に役立つ情報をきちんと得ることができるようになると思います。また90歳近い女性からも「村報の頃からずっと読みよう」と言ってもらいました。

今後、紙の広報誌がいつまで続くのかは分かりません。既に、町のホームページから広報を読んでいる人もいることでしょう。他の自治体では、動画配信を始めているところもあります。

形は変わっても、行政が住民に広報していくことは不可欠ですし、より良くするために読者、視聴者の反応が不可欠です。記事の書き手の皆さんには、未来の誰かに読ませたい記事を心がけていただきたいと思います。また、読者の中心である町民の皆様は、ぜひ紙面を讀んでのご意見や感想、またこんな記事があったらというリクエストをお寄せ下さい。表紙の写真も募集中です。